

平成30・31年度 テーマ  
**超高齢社会のがん看護**  
～その人らしい意思決定の支援を考える～



日時：平成30年2月3日（土） 11：00-12：30

会場：第32回 日本がん看護学会学術集会 第11会場

（ホテルニューオータニ幕張 翔の間）

対象：学術集会参加者全員（事前申込み不要）

平成30年度  
テーマ

# 高齢がん患者の 診断期・治療期の意思決定を支えるケア

日本がん看護学会教育・研究活動委員会では、がん看護のエキスパートナースが、実践につなぐための知識を獲得し、具体的なケア方法を学び患者と家族へのケア能力を高めることをねらいとして「エキスパートナース育成事業」を毎年企画しております。

現在、超高齢社会による2025年問題や多死社会の到来が見込まれることから、第32回・第33回学術集会におけるテーマを「超高齢社会のがん看護」とし、初年度では診断期・治療期の意思決定の支援について、事例を基にして学びを深めます。多数ご参加くださいますようご案内いたします。

## ～パネルディスカッション～

**パネリスト：** 中島 和子 氏

がん化学療法看護認定看護師：静岡県立静岡がんセンター

橋口 周子 氏

がん看護専門看護師：兵庫県立がんセンター

入江 佳子 氏

がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師：筑波大学附属病院

**事例提供者：** 高屋敷 麻理子 氏

がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師：盛岡赤十字病院

**司 会：** 長澤 昌子 氏 緩和ケア認定看護師：岩手医科大学附属病院

平成31年度は、「高齢がん患者の終末期への移行にまつわる意思決定を支えるケア」をテーマに開催予定です。

【問い合わせ】 第32回日本がん看護学会学術集会 運営事務局（あゆみコーポレーション内）E-mail：jscn32@a-youme.jp